

Cinema — Through the Scriptwriter's Eyes

YOKO MIZUKI

水木洋子展

映画——脚本家のアングル

涙の大粒

まねまねうらまで

驟雨

廿の一生

ヤッパいの曲

お宅のん

ひめゆりの塔
あかあへん
福岡中学

2013年

10/26 [土]

2014年

▶ 3/2 [日]

前期 ● 2013年 10/26 [土] ▶ 12/23 [月・祝]

後期 ● 2014年 1/5 [日] ▶ 3/2 [日]

●——開館時間

平日 10:00 ~ 19:30 / 土日祝 10:00 ~ 18:00

企画展示室への入室は閉館の30分前まで

●——観覧料

一般 300円 (240円) / 65歳以上 240円

高大生 150円 (120円) / 中学生以下無料

障害者手帳をお持ちの方と付添の方1名無料 / ()内は25名以上の団体料金

●——休館日

月曜日 (11/4、12/23、1/13は開館)、10/31、11/29、1/31、2/28

展示替えおよび年末年始休館 (12/24 ~ 1/4)



市川市文学ミュージアム

Ichikawa City Museum of Literature

〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4 市川市生涯学習センター 2階

TEL.047-320-3334 FAX.047-320-3356

文学ミュージアム企画展

水木洋子展

映画—脚本家のアンデル



脚本家 水木洋子 (1910—2003) は、昭和22年より亡くなるまで市川市八幡に住みました。市民としてこの地を愛し、女性脚本家の先駆けとして、「ひめゆりの塔」「裸の大将」「浮雲」など、戦後の日本映画の黄金時代を支えた名作の脚本を、次々に生み出してきました。

脚本完成までには、膨大な資料の収集から始まり、綿密な調査、監督や共作者との意見交換、何回にもわたる書き直しなど、様々な過程があります。

本展では、水木の手がけた映画を中心に、そのシナリオ創作過程に注目して紹介します。

関連イベント (開場は各30分前)

●講演会

おんちひでお
恩地日出夫氏 (映画監督) 「『砧』撮影所とぼくの青春」
ほしのけいこ
星埜恵子氏 (美術監督) 「温故創新—つながる『浮雲』セット—」
1月11日 (土) 14時～
グリーンスタジオ 定員220名 (要申込) 12月13日必着
終了後、学芸員によるギャラリー・トークを開催

●第14回脚本家水木洋子の世界 映画の会

映画「山の音」(1954年/監督成瀬巳喜男/94分)
12月7日 (土) 14時～
グリーンスタジオ 定員220名 (要申込) 11月15日必着
終了後、学芸員によるギャラリー・トークを開催

●映画上映会

ベルホール 定員46名 (要申込)
14時からの上映終了後、学芸員によるギャラリー・トークを開催

上映日	11月20日 (水)	12月18日 (水)	1月22日 (水)	2月12日 (水)	2月26日 (水)
開演	11時～ 安宅家の人々 14時～ 純愛物語	にぎりえ キクとイサム	ここに泉あり 安宅家の人々	純愛物語 にぎりえ	キクとイサム ここに泉あり
申込締切	11月1日	11月29日	12月20日	1月24日	2月7日

「安宅家の人々」(1952年/監督久松静児/117分)、「にぎりえ」(1953年/監督今井正/130分)、「ここに泉あり」(1955年/監督今井正/150分)、「純愛物語」(1957年/監督今井正/130分)、「キクとイサム」(1959年/監督今井正/117分)

●秋の文学散歩「水木が愛した八幡をめぐる」

(水木洋子市民サポーターの会/市川案内人の会)

11月14日 (木) 13時～16時
JR総武線八幡駅改札集合～旧八幡横丁～水木邸～文学ミュージアム
定員30名 (要申込) 11月1日必着

●講演会「水木洋子市民サポーターの会 10年誌をまとめて」

水木洋子市民サポーターの会みなさんが、日頃の活動の成果をお話します。
2月5日 (水) 14時～
ベルホール 定員46名 (要申込) 1月17日必着

申込方法 イベントごとに別々の往復はがきに、①イベント名 (映画上映会は上映日も記入)
②参加人数 (1通につき2名まで) ③氏名 ④住所 ⑤電話番号をご記入の上、
〒272-0015 市川市鬼高1-1-4 生涯学習センター2階 市川市文学ミュージアム
「水木洋子」展関連イベント係までお送りください。
※申込多数の場合は抽選とさせていただきます。
※イベント参加の場合は、すべて観覧券が必要です (観覧済みでも可)。ただし、展示室への入室は、当日の観覧券が必要です。
※締切り後でも定員に余裕がある場合は、電話にて申込みを受け付けます。



A



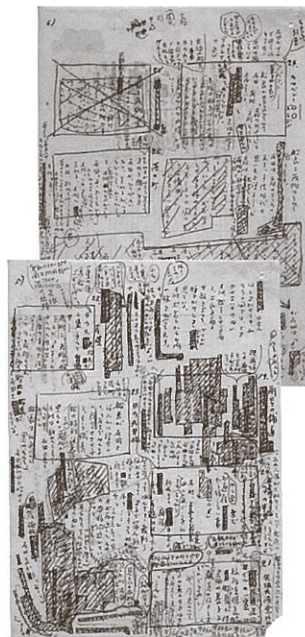
B



C



D



E



映画プログラム
A 「ひめゆりの塔」1953年 (東映)
B 「ここに泉あり」1955年
(中央映画/独立映画)
C 「キクとイサム」1959年
(大東映画/松竹)
D 「おとくと」1960年 (大映)
E 「純愛物語」1957年 (東映)

「あれが港の灯だ」箱書き

■水木洋子邸 (市川市八幡5-17-3)

水木洋子が暮らした家を公開しています。



公開日 10/26、10/27、
11/9、11/10、11/23、
11/24、12/14、12/15、
2014年1/25、1/26、
2/8、2/9、2/22、2/23
10時～16時



市川市文学ミュージアム

Ichikawa City Museum of Literature

〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4
市川市生涯学習センター2階
Tel.047-320-3334 Fax.047-320-3356
<http://www.city.ichikawa.lg.jp/litera/>